

事業テーマ：創薬に向けた iPS 細胞評価系等を対象にした植物由来化合物スクリーニングキットの開発

企業名：株式会社常磐植物化学研究所

所在地：佐倉市木野子 158 番地

助成事業の概要

iPS 細胞の誕生により創薬及び食品機能性成分の研究において植物由来の化合物に大きな関心が高まっているが、化学構造が明らかな高純度化合物である植物成分の種類はまだ少ない。本事業では創薬シーズ及び機能性食品成分の研究開発を目的としたスクリーニングキットの開発を行った。

また、iPS 細胞及び動物モデル等を用いてスクリーニングキットの評価を行い、活性の発現メカニズムの解明まで研究を進展させることができた。

助成事業の成果

本事業終了後も引き続き化合物種の拡大、及び評価の実施を行うことで製品化を目指し、H29年1月にアントシニアン類化合物スクリーニングキットという名称で、植物化合物ライブラリーの販売を開始することができた。

今後の展望

本キットをきっかけに、他の植物成分についてもキット化を望まれる声をいただいております、一部について受託製造の形で対応させていただきました。アントシニアン類化合物スクリーニングキットの受注数は増加しており、販売継続を考えています。今後もお客様からのご要望に応えられるよう製品の開発に取り組んでいく。



ビルベリーやカシスなどのアントシアニンをパッケージしたキット。類似構造の化合物で構成している。

助成金活用感想

本助成金を活用することで植物由来化合物スクリーニングキットの開発を行うことができ、その後、化合物ライブラリーとして製品化・定期的な販売に繋がった。